

北原白秋 「五十音」あめんぼの歌

(水馬 赤いな あいうえお)

あめんぼ あかいな ア・イ・ウ・エ・オ

(浮藻に 小蝦も 泳いでる)

うきもに こえびも おいでる

(柿の木 栗の木 かきくけこ)

かきのき くりのき カ・キ・ク・ケ・コ

(啄木鳥 こつこつ 枯れけやき)

きつつき こつこつ かれけやき

(大角豆に 酢をかけ さしすせそ)

ささげに すをかけ サ・シ・ス・セ・ソ

(その魚 浅瀬で 刺しました)

そのうお あさせで たちました

(立ちましょ 喇叭で たちつてと)

たちましょ らっぱで タ・チ・ツ・テ・ト

(トテトテ タッタと 飛び立った)

とてとて たったと とびたった

(蛞蝓 のろのろ なにぬねの)

なめくじのろのろナ・ニ・ヌ・ネ・ノ

(納戸にぬめって なにねばる)

なんどにぬめって なにねばる

(鳩ぽっぽ ほろほろ はひふへほ)

はとぽっぽ ほろほろハ・ヒ・フ・へ・ホ

(日向のお部屋にや 笛を吹く)

ひなたのおへやにや ふえをふく

(蝸牛 螺旋巻き まみむめも)

まいまい ねじまきマ・ミ・ム・メ・モ

(梅の実 落ちても見もしまい)

うめのみ おちても みもしまい

(焼き栗 茹で栗 やいゆえよ)

やきぐりゆでぐりヤ・イ・ユ・エ・ヨ

(山田に灯のつく宵の家)

やまだにひのつくよいのいえ

(雷鳥は 寒かららりるれろ)

らいちょうはさむかるラ・リ・ル・レ・ロ

(蓮花が咲いたら 瑠璃の鳥)

れんげがさいたらるりのとり

(わいわいわっしょいわいいうえお)

わいわいわっしょいワ・イ・ウ・エ・オ

(植木屋 井戸換え お祭りだ)

うえきや いどがえおまつりだ